

MSJ2016 第2号
2016年11月29日

静岡県知事
川勝 平太 殿

日本哺乳類学会理事長
(東京大学 教授)
遠藤 秀紀



「静岡県浜松市で分布を広げている特定外来生物フィンレイソンリス／クリハラリス
(*Callosciurus finlaysonii* / *C. erythraeus*)の対策要望書」の
提出について

拝啓

日頃より日本哺乳類学会の活動に対し、ご理解ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、静岡県浜松市内には特定外来生物のフィンレイソンリスあるいはフィンレイソンリスとクリハラリス（別名タイワンリス）の交雑個体が野生化しています。1970年頃から浜松城公園付近で飼育リスが野生化し、2013年には東名高速道路以北の緑地や天竜区の山塊にも生息域が広がっています。これまでの国内外での事例から、両種は強い適応力と繁殖力により、深刻な農林業被害を引き起こすだけでなく、在来種の捕食や在来種との競合により生態系被害を引き起こすことも分かっています。

野生化リスについては、熊本県等での早期対策によって、根絶可能な個体数にまで減少させることが実証されています。浜松市内における野生化リスの正確な生息範囲や個体数に関する詳細な調査が必要ですが、現在の状態であれば捕獲による封じ込めと根絶が可能と考えられます。しかし、有効な対策をとらずに数年放置すれば、今後爆発的に個体数が増加して分布も拡大し、農林業や生態系に大きな被害を及ぼすことが確実視されます。当学会は、この問題を解決するために協力を惜しまぬ所存です。

静岡県は、農林業生産量が高く日本の衣食を支える県であるとともに、世界遺産や国立公園に代表される豊かな自然資源に恵まれた日本のホットスポットでもあります。こうした貴重な資源を脅かす可能性がある外来生物の分布拡大を、初期の段階で食い止めることは静岡県の急務であると思います。つきましては、本要望書をご査収の上、浜松市内のフィンレイソンリス／クリハラリスに対し、封じ込めと根絶を目標とした対策を実行するために、浜松市へのご指導とお力添えをお願いする次第です。

敬具

<連絡先>

- 浅野 玄（日本哺乳類学会 哺乳類保護管理専門委員会委員長） 〒501-1193 岐阜県岐阜市柳戸 1-1 岐阜大学応用生物科学部 (Tel. 058-293-2933)
- 池田 透（日本哺乳類学会 哺乳類保護管理専門委員会 外来動物対策作業部会部会長） 〒060-0810 北海道札幌市北区北 10 条西 7 丁目 北海道大学大学院文学研究科 (Tel. 011-706-4163)
- 鳥居春己（日本哺乳類学会 哺乳類保護管理専門委員会 外来動物対策作業部会：現地コーディネーター） 〒630-8528 奈良県奈良市高畑町 奈良教育大学 (Tel. 0742-27-9142)
- 田村（林）典子（日本哺乳類学会 哺乳類保護管理専門委員会 外来動物対策作業部会：現地コーディネーター） 〒193-0843 東京都八王子市市井里町 1833 独立行政法人 森林総合研究所 多摩森林科学園 (Tel.042-661-1121)
- 日本哺乳類学会（公式 HP: <http://www.mammalogy.jp/japanese/index.html>）

2016年11月29日

静岡県浜松市で分布を広げている特定外来生物フィンレイソンリス／クリハラリス
(*Callosciurus finlaysonii* / *C. erythraeus*) の対策要望書

日本哺乳類学会理事長
(東京大学 教授)
遠藤 秀紀

対象とする外来リスについて

当初、静岡県浜松市内で野生化しているリスはクリハラリス (別名タイワンリス) *Callosciurus erythraeus* と考えられていましたが、遺伝的な解析により、別種のフィンレイソンリス *Callosciurus finlaysonii* あるいは両種の交雑であることが分かりました。したがって、本要望書では対象とする外来リスの種類をフィンレイソンリス／クリハラリスとしました。フィンレイソンリスもクリハラリスも、特定外来生物に指定されている東南アジア原産のリスです。浜松市以外でも東京都伊豆大島や神奈川県鎌倉市をはじめ日本各地 (1都10県) で野生化が報告されています。また、日本のみならず、ヨーロッパや南米でも野生化が問題となっています。いずれの地域でも、適応力と繁殖力が強く、急速に個体数を増加させています。両種ともに果実や種子、樹皮等を食物とするため、深刻な農林業被害を引き起こします。また、鳥類の卵、昆虫などの在来種を捕食したり、在来種と競合したりすることで生態系被害を引き起こします。

浜松市における状況

浜松市内では、1970年頃から浜松城公園付近で飼育リスの野生化が確認されていました。その後、1985年には市内31か所の緑地で生息が確認され、また市内のヒノキ植林地が剥皮被害を受けていることも報告されました。さらに、2000年頃までに分布域は22km²に拡大し、最前線は東名高速道路付近にまで及びました。2013年には、東名高速道路以北の緑地にも生息が確認され、天竜区の山塊に迫っていることが明らかになりました (図1)。

正確な生息範囲や個体数については詳細な調査が今後必要ですが、主要な分布地である浜松市街地では、緑地が少なく互いに孤立しています。今の状況であれば、捕獲による封じ込めと根絶が可能と考えられます。逆に、有効な対策をとらないまま数年放置すれば、連続した山塊に侵入して爆発的に個体数が増加し、さらに分布が拡大することにより農林業被や生態系被害が深刻化し、また、封じ込めや根絶がきわめて難しくなることが予想されます。

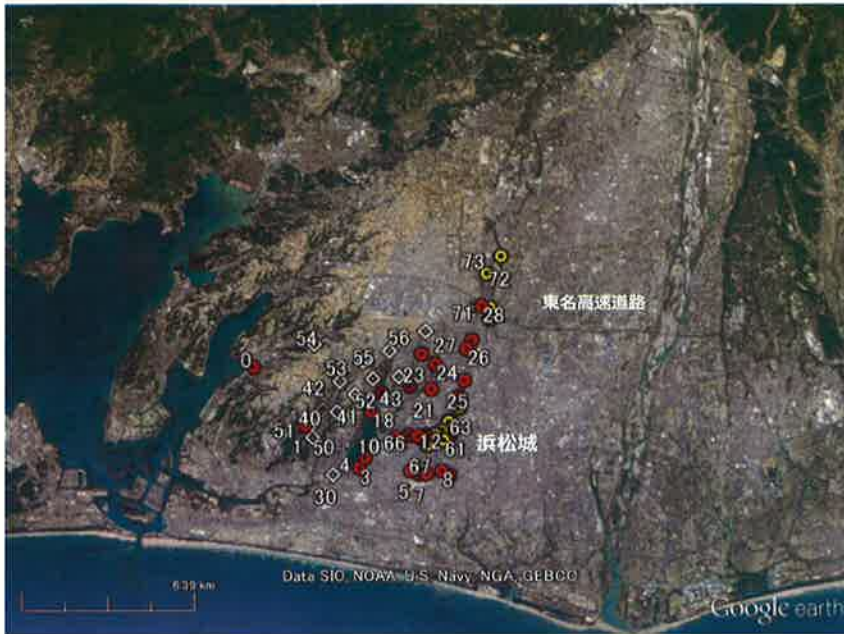


図1 浜松市におけるフ
ィンレイソンのリス／ク
リハラリスの生息確認
地点

- : 2003年 目撃・鳴き
声 (高野ほか 未発表)
- ◇ : 2003年 樹皮剥離・
巣 (高野ほか 未発表)
- : 2013年 音声再生法
(鈴木・鳥居 2016)

予想される被害

リスは、樹液をなめる、巣材として用いる、樹皮内の昆虫を食べるなどの目的で樹皮を削ります。神奈川県横浜市の市街地に残存している公園緑地では、削られた枝が枯死し落枝するケースが頻発しています。また、樹皮剥離を受けた樹木は弱り、倒木およびそれに伴う土砂崩れなども起きています。保存緑地、神社仏閣および公園が主な生息地になっている浜松市でも同様に、枯れ枝の除去などにより緑地が乾燥化して生物多様性が損なわれる状況にあります。

また今後、個体数が増加して周辺に分布が拡大した場合、農林業への大きな被害が予想されます。浜松市北区（旧三ヶ日町等）はミカンの産地であり、天竜区はシイタケ栽培および造林業の盛んな地域です。熊本県宇土半島や神奈川県三浦半島での先行事例のように、当初は市街地に分布していたとしても、その後に農林業をなりわいとする地域にリスが侵入すると、その経済的な影響は甚大です（写真1,2,3,4）。

浜松市北側山塊は他県にもつながる中部東海地方の豊かな自然環境の宝庫です。外国産リス類は短期間で爆発的に個体数が増加して分布域も拡大し、森林生態系への多大な影響が懸念されます。また、一度連続的な山塊に侵入してしまうと、駆除対策は大がかりな規模になることが予想されます。



写真1 (左) : 樹皮を削り
樹液をなめる (神奈川県)
写真2 (右) : 食害を受けた
柑橘類 (神奈川県)



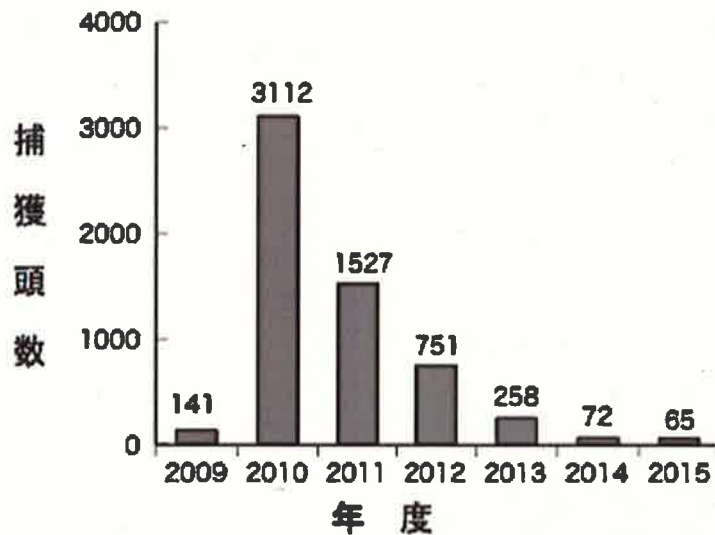
写真3 (左) : ヒノキ造林木の剥皮被害 (長崎県壱岐市)

写真4 (上) : シイタケ原木の剥皮被害 (長崎県壱岐市)

他県における先進事例

クリハラリスが野生化した地域では、定着初期における適切な対策の実施によって分布拡大を抑えることに成功した事例があります。

熊本県宇土半島は、気候が温暖で果樹栽培が盛んな地域です。1990年代に飼育施設から逸出し急増したクリハラリスが農林業被害をもたらし、大きな社会問題となりました。日本哺乳類学会は、2010年1月「熊本県宇土半島に定着したクリハラリスの早期根絶対策の要望書」を提出しました。これらを受けて、2010年度から外来生物法の下で捕獲報奨金制度を適用した本格的な捕獲対策が始まりました。宇土半島のクリハラリス対策は、要望書の提出を機に大きな進展を見せ、5年間に6,000頭近いリスを捕獲することで半島への封じ込めを成功させ、根絶が現実的な目標となる個体数レベルにまで抑えこむことができました (図2)。



データ提供：熊本県宇土半島地域振興局

図2： 熊本県宇土半島におけるクリハラリスの捕獲数の推移

緊急対策の必要性

以上のことから、緊急に、静岡県浜松市内のフィンレイソンリス／クリハラリスの封じ込めと根絶を目標とした対策を実行する必要があります。特に下記の点に留意して対策をとられることを強く要望します。

(1) 詳細な生息分布調査の実施

第一に、静岡県浜松市のフィンレイソンリス／クリハラリスの分布拡大を阻止して周辺地域への定着を未然に回避するために、浜松市が主体となって現状把握のための詳細な生息分布調査を行う必要があります。

(2) 封じ込めのための分布最前線における対策の実施

捕獲が遅れると浜松市のみならず周辺市および他県にも分布が広がり、甚大な被害が生じる可能性があります。分布最前線において徹底した調査を行い、発見された場合には早急に排除のための捕獲活動を市が中心となって行う必要があります。

(3) 根絶を目標とした工程表の策定

繁殖力と適応力に優れたフィンレイソンリス／クリハラリスは、少数であっても野外に残存すれば個体数をすぐに回復させます。このため、根絶を目標に設定し、すべての個体を捕獲して排除することが必要です。分布域や捕獲効率をもとに、根絶まで対策を継続できるよう工程表を作成する必要があります。

最後に浜松市のフィンレイソンリス／クリハラリスを根絶する目的を達成するために、当学会会員を中心に専門家たちが協力できる用意があることを申し添えます。

<参考文献>

- 1) 伊藤政好. 1985. 浜松市街地に野性化したタイワンリス. やすらぎ 12: 6-9.
- 2) Kuramoto T., Torii H., Ikeda H., Endo H., Rerkamnuaychoke W. and Oshida T. 2012. Mitochondria DNA sequences of Finlayson's squirrel found in Hamamatsu, Sizuoka Prefecture, Japan. Mammal Study 37: 63-67.
- 3) 鈴木圭, 鳥居春己. 2016. 静岡県浜松市における *Callosciurus* 属外来リスの分布拡大. 哺乳類科学 (印刷中)
- 4) 高野彩子, 鳥居春己, 藤森文臣. 2005. 静岡県浜松市の市街地に生息するタイワンリスの管理をめざして. リスとムササビ 17: 6-8.
- 5) 鳥居春己. 1993. タイワンリスによるヒノキ被害. 静岡県林業技術センター研究報告 21: 1-7.